

よんなん交通安全だより

令和6年7月発行
四日市南地区交通安全協会

交通事故の発生状況

【令和6年6月末現在】

- **三重県の交通事故死者数は22人で、前年に比べ10人減少。**前年に比べ、人身事故は減少、物損/事故は増加。
 - ・ 交通死亡事故の特徴
事故類型～車両単独8人、人対車両7人、車両相互7人（正面衝突3、出会い頭3、その他1）
路線別～国道11人（R23:3、R1:1、その他:7）、東名阪：1人、県道3人、市町道5人、路外施設2人
年齢別～高齢者11人、20歳代1人、30歳代4人、40歳代1人、50歳代2人、60歳代3人
昼夜別～昼間11人、夜間11人
- **四日市市内の交通事故死者数は3人で、前年より3人減少。**前年に比べ、人身事故は減少、物件事故は増加。
 - ・ 水沢町で「正面衝突」の事故。末永町で「人対車両」の事故。海山道町で「出会い頭衝突」
- **四日市南警察署管内の交通事故死者数は2人で、前年より3人減少。**前年に比べ、人身事故、物件事故とも増加。
 - ・ 3月3日(日)午前0時頃、末永町地内の市道で、普通乗用車と歩行者の事故。歩行者（30歳代・男性）が死亡。
 - ・ 4月15日(月)午前4時頃、海山道町のR23で、軽四貨物車と自転車の事故。自転車（80歳代・男性）が死亡。

四日市南警察署管内の「令和6年6月末」及び「過去3年間」の交通事故発生状況

年 別	令和6年6月末	前年比	令和5年中	前年比	令和4年	前年比	令和3年
人身事故件数(A)	184	-5	401	-27	428	41	387
死亡事故件数	2	-3	8	5	3	-1	4
死者数	2	-3	8	5	3	-3	6
負傷者数	216	±0	480	-56	536	57	479
物損事故件数(B)	2,941	226	5,724	152	5,572	246	5,326
総事故件数(A+B)	3,125	221	6,125	125	6,000	287	5,713

※ 令和6年の数値は、暫定値

夏の交通安全県民運動(7/11<木>～7/20<土>)

【運動の重点】

- 1 こどもと高齢者の交通事故防止
 - ・ 次代を担うこどものかけがえのない命と、交通事故死者の多くを占める高齢者を、交通事故から守りましょう。
- 2 歩行者優先意識の徹底と安全な横断方法の実践
 - ・ ドライバーは、横断歩道における歩行者優先を徹底しましょう。
 - ・ 歩行者の方は、近くに横断歩道があれば横断歩道を渡りましょう。
- 3 シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - ・ 交通事故時の被害軽減のため、すべての座席でシートベルトを着用しましょう。
 - ・ 6歳未満のこどもは乗車させる際は、チャイルドシートを着用しましょう。
- 4 飲酒運転等の根絶
 - ・ 県民一人一人が、「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない」とい自覚を持って飲酒運転を根絶しましょう。
 - ・ 「あおり運転」(妨害運転)は、交通事故につながる極めて悪質・危険な行為で重大な犯罪です。
- 5 自転車等のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底
 - ・ 自転車は「車のなかま」として、交通ルールを守りましょう。
 - ・ 自転車や電動キックボードを利用する際は、自分の命を守るためにヘルメットをかぶりましょう。



毎月「15日」は、「高齢者の交通安全の日」(S・Sデー)

～ 高齢者を交通事故から守りましょう! ～